

03 FOCUS……………特進コース 「特進」って？

08 TOPICS……………OB先生寄稿 松島先生

11 OB/OG会紹介 女子バスケットボール部

14 企画……………活躍する後輩たち ～部活動報告～

17 REPORT……………同窓会の活動報告

20 企画……………HISTORIA 鶴ヶ丘 ～校歌の誕生～

22 鶴高の今を知る ～学校のご案内～

26 同窓会グッズ頒布サービスのご案内

30 INFORMATION……………同窓会からのお知らせ
空手道部OB会からのお知らせ



2018年号表紙
「校歌の碑」

同窓会への連絡先

同窓会へのご問い合わせ先です。

- ・住所などの個人情報の変更お届け
- ・維持会費、寄付に関すること
- ・子弟の母校への入学に関すること
- ・同窓会へのご意見
- ・クラス会、同期会等の開催情報
- ・思い出の品に関する情報
- ・頒布品サービスに関すること

【事務局】

住 所：〒168-0063 東京都杉並区和泉 2-26-12
日本大学鶴ヶ丘高等学校 同窓会事務局
メールアドレス：tsurugaoka@ntdosokai.org
ホームページ：http://www.ntdosokai.org
QRコードよりアクセスできます。

【維持会費・寄付金の振込先】

P.30に掲載している振込先までお願いします。





(写真左から)

現役生徒:若生あかり
特進コース 理系2年

竹内由美先生
特進コース主任
担当教科:地歴(日本史専攻)

OB:丸山将英(マルヤママサヒデ)
2014年3月 特進コース卒
現:学習院大学 文学部 日本語日本文学科

OG:川村青葉
2014年3月 特進コース卒。
現:都留文科大学 文学部 国文学科
国語教育学専攻

付属校なのに日本大学の推薦枠のない特進コースを選択するのはなぜ? そんな疑問から始まりました。

母校、鶴ヶ丘高校に特進コースができたのは平成17年。体育館前の6号館(旧美術棟)を特進棟に改修し、授業をおこなっています。今回はとある土曜日の午後、特進コースの先生、卒業生、在校生に集まっていたいただき、お話しを伺いました。

特進コースを選択した理由

—特進コースのことを詳しく知りたくて、本日は先生・現役生・卒業生(OB・OG)の皆さんにお集まりいただきました。お忙しいところありがとうございます。

まず最初に、皆さんが特進コースを選んだ理由をお聞かせください。

川村 他大学の受験ができるということを選びました。最初から鶴高の特進コ

スに入りたいと思っていました。

若生 都立高校への進学も考えていたので併願もできる鶴高を選びました。それと部活動が盛んなことも鶴高を選んだ理由のひとつです。私は料理部に入っているのですが、週3回きっちり活動しています。他の学校では料理部の活動は週1回とか少ないのです。で、他大受験を希望していたので特進コースを選びました。
丸山 初めは都立に入って大学受験と考えていたのですが、鶴高の雰囲気良かったし他大を受験できるということを選びました。自分の力を試せる、自分の可能性を生かせるというのが特進コースの良いところです。

特進コースの日々

—特進コースの一週間は?

若生 朝は8時半までに登校なのですけれど8時までは登校しています。7時に来ている生徒もいます。

—勉強するため早く登校するのですか?
丸山 俺はチャイムと同時に来て(笑)。

若生 30分くらい授業の予習をして、8時50分から1限が始まります。月曜日の放課後は部活です。

—授業の制限数は普通コースと同じですか。
竹内 制限数は同じですけどカリキュラムが違います。

若生 火曜日は放課後講習があるので3



時50分から5時まで70分間受けて、そのあと部活にいきます。

水曜日は外部講座があるので受ける生徒は1時間半受けます。私は受けていません。木曜日放課後講習があるので70分間受けて部活にいきます。金曜日は放課後講習受けて、部活はないので家に帰ってゆっくりするか勉強するかです。土曜日は4時限なので家に帰って休みます。日曜日は完全にオフです。

外部講座というのは学校の中で受けるのですか。

竹内 外から講師を招いて、水曜日は英語の講座で1年生も2年生も受けられます。

川村 私は、ほとんど毎日部活がありました。わりと不器用な方でしたから勉強しないと付いていけないなと思って、帰宅してから必ず2時間勉強していました。

丸山 全くしなかったですね。授業の予習とかもしなくて、授業始まる前に友達に見せてもらってガーツとしてました。後輩たちに何の参考にもなりませんね(笑)。

川村 私は国立公立大を志望していて進路がぎりぎりまで決まらなかったたので、卒業式が終わった後も学校に一人で来て自習室で勉強していました。フルに制服を着てました(笑)。

(注)母校の卒業式は3月初旬ですが、国立大入試の後期日程は3月中旬のため。

進学によりコースに分かれるのですか？

竹内 コースはありません、文系か理系かだけです。その中で進路が分かれていきます。2年生の時に文系と理系に分かれますが今の2年生は人数が少ないので、ひとクラスの中に文系と理系があります。

特進コースはアットホームで家族みたいな感じですね。

川村 何でも一生懸命やりたいことを頑張ればいいんじゃないかな。助けてくれ

特進コースの紹介 ①

【特進コースができた経緯】

特進の前身は「コースⅡ」でした。「コースⅡ」は、日大の内部推薦だけでなく、一般受験なども視野に入れることのできる学習面に力を入れたクラスです。しかし、他大学進学の実績を伸ばすためには1年次からの指導が必要ということで、特進コースが誕生し、高校入試の段階から希望者を募集することになりました。

【特進コースのシステム】

各学年2クラス編成で、2年進級時に文理系の希望に合わせてクラス替えをします。文理系の別はありますが、基本的に同学年の特進の生徒と担任は3年間変わりません。

2年次に普通コースから若干名コース移動する生徒もいます。逆に特進コースから普通コースへ変更する生徒もいます。

学校生活においては普通コースと大きな違いはありません。授業時間数も同じですが、カリキュラムは異なります。よって定期試験の内容や試験時間も異なる場合がほとんどです。

大学受験に関しては、「コースⅡ」のころに可能であった「評定平均値による日大への内部推薦(統一テスト時代のB・C方式)」の権利はありません。「基礎学力選抜(統一テスト時代のA方式)」で日大を希望することができますが、特進コースから内部推薦で日大に進学する生徒はめったにいません(医学部や獣医学科を希望する生徒はいますが…)。指定校推薦なども希望することはなく、一般受験での大学進学を見すえて取り組んでいます。

る先生や仲間がたくさんいると思うので頼れるところは頼つて。

最後まで部活をやり通したというのは自信にすくつくつなりました。私は3年の8月まで部活を続けたので、本当に最後まで続けて良かったなと思います。

特進コースと普通コースの違い

特進コースだけを教えている先生はいるのですか？

竹内 教科にもよりますが、あまりない

ですね。学年単位で持つことが多いです。教科の先生は3年間ほとんど変わりません。その時々の方を見てくれて適切なサポートをしてくれれます。

普通コースと特進コースのカリキュラムはかなり違いますか？

竹内 深度が違ったり、どこまで掘り下げるかが違ったりということは意識しています。同じことをやるにしても与え方を変えたりしています。

若生 特進コースだとけっこう課題も多

いのですが、だからといってみんなガツガツ勉強タツって話ばかりじゃないんです。だけど集中力はあります。

川村 努力家の生徒が多い感じ。

若生 普通コースと特進コースだったら特進コースの方が受験に向けてという教材やプリントを与えられることが多いと思います。特進というのはガリ勉のイメージがあつて怖かつたんですけど結構そうでもないし、部活をやっている生徒もいて、いろいろと両立させている生徒も多いです。

—特進コースだけにある学習夏合宿とか、キツかつたことはありませんか。

川村 あれはキツくないです。夜、眠くならないようにみんな甘いカフェオレ飲んだりしていました(笑)。

未だにレポート書くとき懐かしいなと思ひ出します。

竹内 合宿は勉強がキツいというよりは、眠くてキツイとか違うキツさがやつてきて。特進だけ違う行事が多いから、むしろもっとみんなが仲良くなるチャンスがあつたり楽しめるという風に考えています。勉強はきつかけなんですけど、結果的には集団がまとまるひとつの行事なので、同じ方向に進む集団がもっと強くなるという側面はあります。

若生 最近塾でも合宿があるのであまりつらそうには思わないです。

竹内 本当につらいのは模試とか受けて、その後のメンタル面とか判定ができない時とか。うまくいかなくて個人々々で抱えるものの方がつらい。みんなでも共

有できるものはそれほどつらくない気がしています。

川村 勉強に関しては自分だけでなく、みんなも頑張っているという雰囲気があるんで、目標はそれぞれなんですけど一人という感じはあまりしなかつたです。

特進コースの思い出〜親身な先生

—竹内先生の思い出をお聞かせください。

川村 大学受験の時、センター試験に失敗してB判定で絶対に落ちると思つてました。最後の最後まで進路が決まらなくて…。一人で落ち込みたくないから職員室で合格発表を先生と一緒に見てもらつて、絶対落ちると思つていたからその場で笑い飛ばして欲しかつたんです。ところが合格！先生が「本当に良かったね」と自分のことみたいに喜んでくれたのが嬉しかつたです。

竹内 合格発表を一緒に見ることは今でもありますね。

—一緒に見て「アーツだめだったね」とか一緒に泣いて「がんばろうね」などとやつてます。

—他大受験だからそれがある。

竹内 進路はシビア！

丸山 俺こんな感じで結構のんびりしていて、高3のときもあまり勉強しなかつて結局一年浪人しました。

—現役の時、先生が必死になつて大学とか調べてくれて「ここがいんじゃない」とか言つてくれて。俺なんか「行けると

ころに行けばいいかな」ぐらいの感じでしたけど、先生が力を尽くしてくれました。結局だめだったんですけど、先生がいろいろ言葉をかけてくださったのでそこから一年がんばろうと思えたり、合格した時も先生のところには報告にいきました。よく顔は出させてもらいました。すごく影響を受けたなと思いますね。

竹内 浪人中も何かあれば話を聞けるし、今でも浪人している子にチョイチョイ声をかけたり連絡したりしています。訪ねて来たら話を聞いて一緒に受験スケジュールを考えたりと結局決まるまで付き合います。決まった後はいろいろな道があると思うのですけど。

丸山くんも大学でやっていることをいろいろ教えてくれて、サークル活動で音楽をやっているのですけど聴きにいったりもします。そういう教え子がいると現役の生徒たちに卒業生は色んなところで頑張つてるよとか話ができて、ある意味還元されていますよね。

—今度も卒業生何人か来てもらつて、現役の生徒に話してもらおうと企画しています。特進のつながりを横だけでなく縦にもつなげたいと。

—この上の教室に赤本(大学入試過去問題集)がメツチャいっぱいあるんです。みんな使わなくなったのを置いていってくれるので、すごく助かっています。

特進コースの紹介 ②

【特進コースのカリキュラム】

1年次から普通コースとは時間数が異なる教科があります。2年次に文理系に分かれますが、5教科を中心に学習できる内容となっています。3年次のカリキュラムがもっとも普通コースと異なりますが、志望校に合わせて多くの選択科目が用意されています。現行の1・2年生のカリキュラムでは、授業の中で国公立大対策も私大対策もできる選択科目の設定となっています。

【普通コースと特進コースの違い】

たくさんありますが…

- ① クラスの人数が少ない
- ② 運動部加入者が少ない
- ③ 2年次から「特進棟(6号館)」が拠点になる
- ④ 担任だけでなく教科担当者が変わることはほとんどない
- ⑤ 放課後講習が2年生の春から始まる
- ⑥ 1年次から夏期講習がある
- ⑦ 2・3年の夏に合宿講習がある
- ⑧ クラス内の男子の在籍数が極端に少ない(ときもある)
- ⑨ 校内模試の回数が多い
- ⑩ センター試験直前まで授業がある
- ⑪ 進路ガイダンス・個人面談が多い

etc



丸山 授業は面白かったですね。
 選択授業の時、人数が5〜10人と少なくなるので、みんな好きなところに座って先生が質問したらわかる人が答えるとか。プリントの穴埋めして、授業というよりは対話形式という感じでした。竹内先生の日本史の授業は週7・8時間あるんですけど、全然苦にならずに楽しかったですね。先生のおかげなのかなと思います。

特進コースの思い出〜部活動

―部活動の思い出はいかがでしたか？

川村 私は吹奏楽部でした。

当時は吹奏楽とバトンとガードがみんな同じでしたから、マーチングもやり演奏もやりというところでした。私は部活と文化祭と勉強とどれもがんばろうと思っただけで充実していたなと思います。

特進にも部活にも居場所があつて、どっちも応援してくれる先生とか、一緒にがんばる仲間がいたのがすごく支えになっていました。

―クラブ活動をしていると普通コースと特進コースの交流はありますか。

川村 ありますね。部活の同期が私以外全員普通コースの生徒だったので、講習のときはゴメンと言って休ませてもらったりということがありました。定期演奏会の進行を任せてもらったこともあり、部内で特進コース普通コースの隔たりはありませんでした。

―今の料理部でも同じですか。

若生 はい。

竹内 部活に入るときキチンと自分が両立できるかどうかというところが一番大きいんです。やってもいいけど、いろいろ疎かになっちゃうのだったら、ちょっと考えなければねと…。だから入っちゃダメということはありません。

部活をやりながら勉強した方が、か

えって集中できたり効率よくなったりします。自分で時間管理できるようにもなったりもすると思います。

いつも一年生を持つときに「全部やれ、全部頑張れ」と言ってます。それが最後には自分のためになるという話をしています。

特進コースの特徴

竹内 行事にはクラス単位で参加しますから、クラスの人数が少なくてもひとクラスの扱いです。体育祭などは余計に頑張る必要があつて大変な思いをしました。

―団結力が出来ますね。

竹内 そのメンバーが来年もがんばろうということになります。普通コースはクラス替えがあつてバラバラになります。特進コースにはありませんから「今年だけでも来年頑張ろう」というのはありますね。ただ、残念ながら圧倒的に男子が少ないです。

丸山 クラスの人数が34人で、私の時は男子11人でした。

―モテてモテて仕方がないでしょう。

丸山 いやあ。現実には甘くない。そう簡単にはいかないし。

特進コースの紹介③

【現在の特進コースは各学年何クラス？1クラスは何人？】

1年生 2クラス(24人・25人) 2年生 1クラス(32人) 3年生 2クラス(20人・16人)

【特進コースと普通コースの交流は？】

部活動や委員会活動、学校行事などを通して活発に交流しています。特進のクラス内の人間関係はかなり固定されるので、部活動は交友関係を広げる場となっています。部活動に所属しないと、生徒によっては校内での交流がかなり狭まってしまうかも…。とくに「先輩・後輩」に疎くなりがちです。

【特進コースと普通コースの先生は同じ？】

特進コースの教科担当の先生方はほとんどが専任の先生方ですが、もちろんみなさん普通コースの授業も受け持ちます。教科・科目による差はありますが、先生方はコースに関係なくすべての鶴高生を指導します。

川村 何に対しても一生懸命なところもそうですし、先生も持ち上がりで文系理系を超えて「特進みんなチーム」みたいな、仲間という意識が強いかなど思っています。

丸山 ひとクラスの人数が普通コースに比べて少ないのでつながりというのが大きいですし、先生とのやりとりとか質問などもクラスみんな勉強をちゃんとやろ

うという雰囲気があるのでしやすかったり、勉強に向かっている態度は作りやすいんじゃないかと思えます。

—日本大学以外に進学して鶴高の同窓生やクラスメイトとの付き合いはありますか？

丸山 クラスメイトと半年に1回くらい会ったり、クラス会でちょっとご飯を

非常口



食べにいきましようみたいな感じで集まることはあります。

クラス替えがない分、持ち上がりなのでクラスという単位でのつながりは強いかと思うんですね。

学べる環境

—中学生に鶴ヶ丘の特進としてのメッセージをお願いします。

若生 勉強も部活もしっかりできる環境がいいですね。勉強は外部講座や放課後講習として合宿もあるし、部活も文化部・運動部の区別なく盛んです。また、海外志望者も多くて、私のクラスにもこの9月から海外留学して卒業を目指す生徒や3ヶ月間だけ短期留学したり語学研修に出る生徒もいます。卒業生にも海外経験者が多くいるので体験談が聞けたり刺激も受けられます。

川村 勉強も部活も頑張りたいと思ったら、その環境は整っていると思います。先生も周りの生徒も頑張っている人を応援してくれるし、どんな挑戦することができま。私もいろいろなことに挑戦させてもらった3年間だったかなと思います。

丸山 間違いない良い環境で勉強できますし、部活も楽し

めると思います。ウチは勉強と部活と両立している人も多く、みんなキチンと向かっていきます。都立などはやらない生徒がいても放置みたいな感じがあったりするんですけど、ウチの先生はしっかりと面倒を見てくれます。勉強も部活もしっかり楽しめて、かつ実力もアップできるすごく良い環境だし、それが魅力だと思います。

—先生から同窓生の子弟に対してお願いします。特進というところにフォーカスして。

竹内 私は受験を失敗して浪人をしたことがあるし、勉強をしなかったことをとても後悔しているんです。部活も中途半端だったし高校時代は楽しかったんですけど、終わって見たときにもっとやっておけば良かったという思いばかりが残っています。ですから個人的にはそこを手助けできるようにしたいと思っています。納得のいく3年間、自分でしか作れないですけどそれをサポートする環境がこの学校にはあります。特進コースはもっと身近なところでサポートしてくれる人がたくさんいます。ひとつの目標を作って、そこに向かっていくというのはすごいエネルギーが必要になるし、それをやり遂げた後は大きな財産になります。自分でしかつかめなないことですから、そういう経験をぜひ高校でしてほしいなと思います。

特進コースと普通コース、3年間通ごし方がそれぞれあります。普通コースは特進コースの生徒以上に部活や学校行事

や他にも手を広げられると思います。特進コースはちょっと足かせができる分、でもその中で精一杯のことをやろうというのが良いと思います。つまりはどういう3年間を過ごしたいのかというのをウチ(鶴高)は二通りから選べますよということではないでしょうか。



取材後記

お互いがライバルのガリ勉強生。見事にイメージをひっくり返してくれました。自らが強い意志を持っているからこそ、同志なのです。3年間少ない人数のなかで仲間意識を紡いでいく。特進チームとして卒業後も友人同志、また学校とも強い絆を持っていることを知りました。

ありがとうございました。



鶴ヶ丘高校と生徒の変遷

松島修三

松島先生 Last Lesson!
2008.2.26

松島先生プロフィール

1966年(S41) 日本大学鶴ヶ丘高等学校卒業
 1970年(S45) 日本大学芸術学部音楽科卒業
 同年 日本大学鶴ヶ丘高等学校普通科非常勤講師
 1972年(S47) 日本大学鶴ヶ丘高等学校普通科専任教員
 2008年(H20) 日本大学鶴ヶ丘高等学校退職

はじめに、右のテーマでの執筆依頼でしたが、書き手が難渋すれば、当然、読んで下さる側にも退屈な内容になりますので、テーマも視野に入れながら生徒と教師の両時代を回想形式で綴らせて戴くこと、お断りしておきます。

まずは入試にまつわる記憶ですが、学案内にはコンクリートの校舎がイラストで描かれていました。今であればお洒落なアイデアかも知れませんが、写真にすべき校舎がまだ建っていないだったので。願書の受付もプレハブ小屋の窓口を使っていました。ベビーブームのベビー達が高校受験をする昭和三十八(一九六三年)当時、私が目指す日本大学鶴ヶ丘高等学校の施設はそんな状態でした。入試の筆記試験と合格発表は三軒茶屋にあった農獣医学部(現、生物資源科学部)のキャンパスを借りて行われました。発表された正規合格者は五〇〇名、補充合格者が五〇名、私の番号は補充の中にあ

り、前途多難を覚悟したものです。ところが、日大講堂に集められた四月の入学式には、何と二二〇〇名に及ぶ新入生。生徒間には様々な憶測が飛び交いましたが、いつまでも話題にしないところが鶴高生らしさでした。それにしても、AからRまでの一八クラスの殆どが六十名以上と、既に入級生も在籍している高校の、キャパシティたる校舎が建築中

とは、今考えても無謀もしくは思えません。一学期は木造の古い校舎で、一、二学年を午前、三学年を午後とする二部授業を受けながらL字型の一号館の竣工を待ち、翌年は新校舎に移りましたが、三号館の建築のため一学期は同様の二部授業でした。当時の文部省からクレームもなく、生徒や保護者からの批判も出なかったとは、畢竟、良き時代でした。こうして、「そそり立つ白亜の母校：こと五代校長であった出口忠先生が校歌(昭和四十六年発表)に作詞した四階建ての全校舎が完成したのは、昭和三十九(一九六四年)のこと、建築から落成までを見届けたのは我が同期生達なのです。

二学年から理科系と文科系に分けるのは現在も同じでしょうが、当時は三学年でのクラス替えはなく、同じ顔ぶれで二年間を過ごしました。一クラス減ってQまでの一七クラスの、A(理科)とD(文科)だけが僅かに女子のいる共学で、私のL組は黒一色の男子クラスでした。付属で大学への推薦制度があるとは言いい、よく学ぶことはなく、実によく遊びました。授業中は遊ぶための活力を温存するために仮眠する者が三分の一、先生が板書している間に弁当の早食いやチョコレートのお返し、当時人気のハイクラウンチョコレートはパチプロ君の戦利品で、四本入りの一本を私も十円で買いま





▲体育館前の旧プール(現6号館付近)



▲旧木造校舎

した。授業にはローテンションでも行事にはハイで、体育祭の仮装行列では「こんにちはは赤ちゃん」(前年のレコード大賞)よろしく、理科の先生であった担任に調達頂いた白衣をベビー服に装着して練習歩き、見事入賞を果たしました。同年に開催された東京オリンピックの直後、国立競技場で行われた日大祭の応援合戦(高校の部)では、人文字のNを浮き彫りに色違いの団扇を回転させた美しさに鶴高が優勝、閉会後に大挙してあの聖火台に上がったのも忘れられない思い出です。

六十四人いたクラスメートは個性的で、箸だけを持参して他人の弁当を盗み食いする友、色白を恥じて顔にドーランを塗って登校する友、授業を抜け出して立っていたK高校との果し合いに加勢する友、興味から解剖前の獣体洗いをアルバイトにする友、オリンピックの聖火ランナーの伴走に選ばれた友、等々。私にしてみても豪傑揃いの男子クラスに似合わず、音楽大学を目指して授業中に机の下で楽譜を広げていたのですから、変わり者の一人だったのでしょうか。そう言えは、教室にピアノだけ置いた防音設備もない音楽室で、先生も無視してベンチャーズの「パイプライン」をピアノで弾き、手拍子の嵐にしたこともありましたっけ……。閑話休題、保護者がとかく安全にうるさい現在では考えられないでしょうが、ク

ラスメートの中にはオートバイで通学する友も多く、自動車まで許されていたか不明なのですが、近隣に駐車していたヒルマンに私達を乗せて、甲州街道の対向車線を暴走したりしながら、神田の自宅まで送ってくれた友もいました。

同じ同窓会報の平成十九(二〇〇七年)版に、「鶴高生活を語る」とする団塊世代の原稿を求められたとき、私は「何が変わらないかと問われれば、のびのびとして屈託のないところだと答えるでしょう。」と書いていますが、のびのびとしながら、押し付けを感じないと、自由な発想から逆に勉学にも興味が湧くものらしく、一学年の私は音大への受験準備を進めながら、国語の、とりわけ古典が好きになり、何でも知りたいと思っていました。それが、修学旅行を際立った思い出にしていること、間違いありません。伊勢を起点に南紀から関西を巡る九泊十日の修学旅行は、問題の多さに担任の先生方には地獄だったでしょうが、生徒達には天国でした。バスから降りれば見学もそっちのけで精一杯はしゃぎ、旅館では悪戯の限りを尽くしました。加えて、私には万葉集の舞台を旅する興奮があったのです。伊勢神宮では永遠の別れとなる弟を見送る大伯皇女を美しく想像し、南紀の海岸線を走行しているときは、謀られて護送されて行く有馬皇子が「無事であれば帰りに見よう」と松の枝を引き結んだのはこの辺なのか、と過ぎて行く浜を目で追ったり、飛鳥で天智天皇が人に例えて歌ったという大和と三山を一望にしたときは感慨無量でした。そんな私の知っ

たかぶりを、授業で教わった管なのに、目を輝かせて聞いてくれた友達表情までが懐かしく浮かびます。

私に限らず、関心を持ってどのグループへも自由に行き来していました。鶴高ではそれができました。趣味も興味も全く違う面々でも、どこかで支え合っていた気がします。私は友達が好きで、学校が楽しかった。だから、と書けば言い訳になりそうですが、三学年の最後になって、某音楽大学を目指してレッスンに通っておきながら、統一試験の点数が推薦枠に達していたのと、「一緒に日大へ行こうよ」と言った友達の一語で、あっさり断念して芸術学部音楽学科に進学してしまいました。卒業後も、江古田の大学へ通うには、御茶ノ水から池袋まで地下鉄で行く方が早かったのですが、わざわざ国電(現JR)で新宿を通る鶴高時代の通学路を懐かしんでいました。大学で教職課程を履修する胸の内には、母校に帰って教壇に立つ夢が潜んでいたと思います。芸術学部には文芸学科があるので、文学史や作品論を受講しながら、可能であれば国語の教職課程にも手を伸ばすことも考えていました。大学四年の昭和四十四(一九六九)年、教育実習のために訪れた母校は様変わりしていました。前年に芸術学部と提携した芸術課程の音楽科と美術科が新設されていたのです。普通科の音楽だから希望した実習が、専門の音楽科に回されてまごつき、新任の募集は音楽科のみと知って、懐かしんできた母校に寂しさを抱きながら諦めました。しかし翌年の三月、楽譜会社の音楽



▲1964年当時の中庭

教室に就職が決まっていた私に、前任の教師の急な事情から普通科での指導の依頼が飛び込んできました。非常勤講師でしたが、二つ返事で引き受け、四月から先生として母校に返り咲くことになりました。当時、一、二学年の全クラスに美術と音楽の二単位（週間に一時間）ずつが必修でした。一年生はまだしも、二年生は既に完璧な鶴高生。音楽なんてどうせ進学に関係ない、と思われているから、授業は遊び半分には喧嘩半分。でも、手を焼きながらどこか懐かしく、たまに支え合う様子を目にする、昔のまままでほっとしました。

二年後には専任扱いとなり、担任としてクラスも持たされるのですが、紙面も限られているので、タイトルにアプロウチしなければなりません。同じ主任の学

年で三年間を過ごし、昭和五十（一九七五）年に初めて卒業させた男子クラスの生徒を、我が時代の鶴高生と比較すると、常識も判断力も理性も上で、悔しいほどお行儀が良くなりましたが、変わらなかつたのは、嬉しいことに支え合いました。また、父権も健在で、柔道の授業で骨折した生徒を送り届けたとき、謝罪する私に父親が「男の兒なら、怪我ぐらい当たり前で、しない方が心配です」と逆に慰めたり、無断早退を家庭に知らせたときは、「先生に殴られて来い」と学校へよこした父親もあつたくらいです。体罰は慎みましたが、厳しさが人を人として形成させて行くことも忘れてはならないと、熟慮する契機になりました。

鶴高の音楽科に事情が起きて、俄かに移動させられたのが昭和五十三（一九七八）年でした。音楽科は三十名足らずが一クラスですから、担任もクラスメートも三年間変わることもなくお互いを知り尽くします。音楽を専門とする生徒は感情的で自己主張が強いと思いきや、普通科より仲間意識が強く、現在も毎年集まりを続けているクラスもあります。その音楽科が美術科と共に閉校したのが昭和六十三（一九八八）年。十年間担任をして、一人残された私が残務整理の末、普通科に戻りました。

先に掲げた、平成十九年版の会報の記述の前に、「鶴高生の何が変わったか」と問われれば、社会の趨勢に等しく物質的になったと答えるでしょう」と書いていますが、そう感ずるようになったのは平成に変わって十年ほどの頃です。会報では

「物質的なゆえに無機質になりかねない社会と続いています。得にならなければ無駄と割り切る考えが、心の反応を薄れさせ、鶴高気質の支え合いも消滅しうで不安になりました。同時期に、保護者の攻撃を学校や教育委員会が恐れるようになり、それにつれて、生徒の置く学校の価値観も違ってきたように思えました。推薦書であるのに、「先生に書かせればいい」、と親が言っている」と耳にしたとき、先生が利用するだけの存在みたいで情けない気持ちにさせられました。近事では、履修単位に関して問題が発覚したとき、説明の場へ非難に押し寄せた保護者達が、同じノリで謝恩会のカラオケに興じている。母校の荒廃を見るようで、立ち去りたい衝動に駆られました。勿論、結果は大切ですが、それまでの過程にどれほどの意味を持たせるかが学校教育だと思ふのです。

平成二十（二〇〇八）年に鶴高を去り、今年で十年になります。定年の五年前に退職した理由は、鶴高時代の国語が忘れがたく、執筆に時間を使いたかつたからです。既に音楽科に赴いたときから小説を書き始め、平成二（一九九〇）年と翌年には朝日新人文学賞の候補に挙げられていました。執筆は夜間しかできず、徹夜になることもありましたが、本務への影響を心配されないように、また、専門の音楽も疎かにしているので、学校では公言できませんでした。普通科の担任であった頃、望遠鏡で夜通し星を見ていて一時間遅れで来る生徒や、授業をサボってボクシングジムへ通う生徒を、真剣に

叱ることはできませんでした。興味は譲れなかつたその生徒達と、同類の鶴高生なのだど苦笑しています。この十年間に長篇を三作仕上げ、二作は本になりましたが、未熟を恥じるばかりで奮闘は続きそうです。

昨年、嬉しい場に居合わせました。某君の結婚披露宴の席でした。勤務している大手会社の上司がスピーチに立って、「彼は一番打者やクリーンナップではないが、底力とプラス志向が持ち味だからベストナインから外せない」と評したとき、鶴高生をうまく例えた、と照れている新郎に惜しみない拍手を送りました。母校にはご無沙汰のし通しで、同窓会を通しての見聞しかありませんが、現在の生徒にもこのびのびとして屈託なく、そして、底力とプラス志向と支え合いを養うべしと願うばかりです。

回想のままに斯く綴ってきた私も、昨年は古稀で、共に勤務した同僚に逝かれたり、卒業生まで喪う年齢になりました。学生服や真新しいスーツを着ていた自分が、玉手箱の煙を浴びたように白髪の実に戻りましたが、その中で、生徒の時代は担任で教師の時代は上司として長きに亘ってお世話下さった佐藤（現、橋本）宣弘先生をはじめ、徳富鎮一、内田岩次、飯島元道の各先生方がご健健でいられることは、心強い限りです。先輩であった先生方も仰ぎながら、親しい同士とは支え合い、老いてもなおおチャレンジする鶴高生を自負しております。

終わりに、母校鶴ヶ丘高校と同窓会の、益々の発展を祈念して止みません。

女子バスケット ボール部



母校女子バスケットボール部は創部44年、1974年(S49)に12名でスタートしました。当時は在校生の男女の人数差も大きく、共学とはいえ男子7対女子3という割合でした。今でこそ男子より女子の割合が多いという状況になりましたが、少数の女子生徒が新たに部活を立ち上げるには苦勞もあつたのではないのでしょうか。そんな苦勞話、昔話を現役の部員たちとともに先輩方に伺いました。

(OG 以下同)

—初めて女子バスケットボール部(以下、女子バスケット部)ができたときから入っています。もちろん備品など何もない時代に始めました。

—最初はバスケットボールをするつもりはなかったのですが、付き合っ行ってなぜかやることになってしまいました。こんなに続いているって本当に感慨深く、ありがたいなと思っています。

—体育大会のときに顧問の先生から声をかけていただき、1年の秋くらいから始めました。

—もともと男子が多かったので女子バスケット部が無かったのでしょうか。5人以上集まれば作ってもいいよっていうことだったので、とりあえず手を挙げさせられて入部することになった。

—最初は10人くらいいたんだけど、夏の合宿でみんな辞めて半分くらいになったね。

—当時は男子と一緒に練習というか、端っこに追いやられてました。見てくれ



苅部 (旧姓:田辺) 裕美子 S52卒



八田 (旧姓:水口) 加奈子 S52卒



塚田 (旧姓:広瀬) ひとみ S52卒

る先生もいなかったので1時間以上同じことやっていて…。

(在校生 以下同)

—今どき自分たちで部活を始めるなんてムリムリ!

(司会)ところで、当時はきつい練習でどんなにつらくても水を飲んではいけないうと、水を飲むとバテてしまうからいけないうと教えられていました。また、ミスするとペナルティーでウサギ跳びもさせられた時代です。

—えーっ!信じられない。
—ウサギ跳びって何…? :

(司会) 創部1年間は連盟に登録ができないため、練習試合はできるけど戦績が残るような試合には出られませんでした

た。当初はユニフォームも無かったので、初めての練習試合のときは男子のすごく大きなタンクトップのユニフォームを借りて、下に白のTシャツを着て臨んだそうです。

—それで強かったら格好いいけどね。

—ダブルスコアどこじゃないでしょ。二桁いかなかったくらいじゃない。

—全部で2ゴール。(笑)

—経験者も少なく、まずルールからみんな覚えて、スコアつけるのを覚えて、部室も無いから体育館の隅で…。

—マネージャー制度というのがなかったから、今の選手とマネージャーの違いというのがよく分からないんです。マネージャーさんというのは、選手が試合をしているときやその他のとき、どんな活躍をしているのか教えてもらえますか?

—試合のときはスコアを書いたり、ビデオを撮ったりしています。

—練習のときはタイマー、シートのカウントをしています。

—創部したときには指導者がいなかったとか、コートがあまり使えなかったと聞いていたんですけど、その中でも一番辛かったことはどんなことでしたか?

—夏合宿が一番辛かったかな。

—想像つかないと思うけど、教室で寝泊まり!机を全部後ろに押しやって平らにして、その上に布団を敷いて寝た。

—もちろんクーラーも無くて。

—代田橋に銭湯があったので、それだけが唯一の楽しみ。

—一番良かったなと思ったことは何ですか?

—辛いことも多かったけど、それだけ絆が強くなったので、未だにみんな一緒に楽しく会っていられることかな。そして何よりも女子バスケット部が続いていること!それが一番嬉しい。創って良かったなと思う。

—今、高校生に戻ったら何の部活に入りたいですか?

—今ねえ…。

—やっぱりバスケットかな。

—きょう、この環境見たらバスケットぜんぜんOKって。

—こんな環境で合宿とかしてみたかったね。

—辞めたいと思ったことはありますか?

—辞めたいは無かったよね。

—つらいとか、この場を逃げ出したいと思ったことはあったけど、部活を辞めたいと思っことは無いですね。

—練習は一週間に何日ありましたか?

—一日に何時間くらい練習しましたか?

—休み無かったよね。

—体育館を使えるのが週何回かあるんだけど、大体コート半面。

—男子が半分使ってた。

—休み無かったよね。ボール使う前のインターバルみたいな練習は男子も女子も一緒にして、男子と全く同じメニュー



だった。

— 体育館使えないときは大宮八幡まで走って行ったりとか。基礎体力づくりの練習もして、土曜日がロードワーク。

— 土曜日は先生の都合で授業が終わってから6時くらいまで練習。

— 遅くなると、ときどき先生が駅前でお蕎麦ご馳走してくれた。人数少なかったし。

— 『帰るぞ』と言われるまで待っていて、きょうはお蕎麦食べられるかなとか。(笑)

(司会) 今でこそ先輩後輩が和気あいあいと練習に励んでいます。ですが、当時は1学年違っただけで相当厳しくされた毎日でした。先輩の言うことは絶対「イエス」と言わなければいけない。今だったらパワハラと言われてしまいたいような、そんな環境の中で先輩後輩という関係が続けてきたのです。髪の毛の長さもそうでした。切らなければいけないことはないのだけれど暗黙の了解で女子バスケット部に入ったら切らざるを得ない。とはいえ、先輩は先輩のことをお姉さん

と想って慕い、先輩は後輩のことを妹と想って可愛かっていました。

— つらいと思ったときにはモチベーションをどこに持っていたのですか？

— 確かにつらいのはつらかったけど仲間みんながつらいんだって思うようにはしていたよね。そしてお互いに頑張れみたいな。だからみんな言葉には出さなくても支え合っていたんだと思う。

— 逃げ出したいって思ったこともあったとか…。

— 合宿中に男子には逃亡者がいたけど、一夜、扉を乗り越えて朝になったらいなかった。(笑)

— 男子の練習、相当厳しかったみたいだから。

(司会) 女子バスケット部ができて7年目の1980年(55)、新卒で教員として鶴高に就任された久保裕美先生が顧問として入られます。聞くところによると当時は先生も新任でしたから、生徒には負けれないという頑張りがひしひしと伝わってきたそうです。

そして部は創成期から円熟期へと進みますが、久保先生が顧問になられてから女子バスケット部が今まで継続しているということも確かなことで、先生のその頑張りには大いに感謝をしたいと思います。

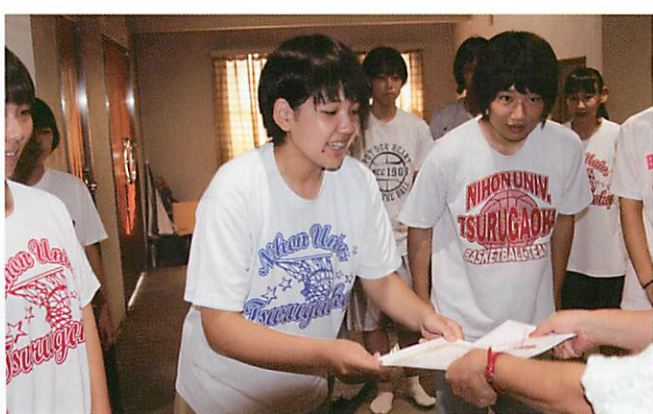
後までバスケットを続けられればいいなって思っていますから、皆さんぜひ頑張ってください。

— 試合には積極的に応援に行かせてもらいます。

— 頑張ってください。

— 質問じゃないんですけど、つらい環境の中、女子バスケット部を創っていただきありがとうございます。

— 続けてくれてありがとうございます。(拍手)



日本大学鶴ヶ丘高等学校 野球部

西東京大会準優勝！おめでとう！



今年の夏の大会、母校はノーシードとはいえ150キロ超を誇る速球派右腕と独特のフォームから投げ降ろす技巧派右腕を擁し7月11日の2回戦からスタート。

5回戦の対明大中野八王子戦では何と両チーム合わせ四球41個、試合時間4時間4分という記録に残るゲームとなった。準々決勝、準決勝では強豪の創価高校・国士館高校を破り決勝の相手は日大三。猛暑のスタンドを埋めた生徒・同窓生・父母や教職員らが一体となり熱い声援を送った。点を取られては取り返しと接戦が続いたが9回裏に力尽き終戦。とはいえ西東京130チーム出場での準優勝は立派なもの。ぜひ来年の優勝を期待したい。





近年の部活動実績（関東大会・全国大会） 2016.1～2018.8

- | | | | | | |
|---------|--------------|------------------------------|---------|----------------------------|------------------------------|
| 2016.1 | スキー部 | 第51回関東高等学校スキー大会出場 | 2017.6 | 空手道部 | 第46回関東高等学校空手道大会出場 |
| 2016.3 | 空手道部 | 第35回全国高等学校空手道選抜大会出場 | 2017.7 | 空手道部 | |
| 2016.5 | アメリカンフットボール部 | | | 第44回全国高等学校空手道選手権大会(高校総体)出場 | |
| | | 第42回関東高等学校アメリカンフットボール大会出場 | 2017.7 | 放送部 | |
| 2016.6 | 空手道部 | 第45回関東高等学校空手道大会出場 | | 第64回NHK杯全国高等学校放送コンテスト出場 | |
| 2016.6 | 剣道部 | 第63回関東高等学校剣道大会出場 | 2017.8 | 放送部 | 第41回全国高等学校総合文化祭出場 |
| 2016.6 | ゴルフ部 | 関東高等学校ゴルフ選手権 決勝大会出場 | 2017.10 | アメリカンフットボール部 | 第48回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会出場 |
| 2016.7 | 女子バレーボール部 | 第24回関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会出場 | 2018.1 | 空手道部 | 第26回関東高等学校空手道選抜大会出場 |
| 2016.7 | 放送部 | | 2018.1 | スキー部 | 第53回関東高等学校スキー大会出場 |
| | | 第63回NHK杯全国高等学校放送コンテスト出場 | 2018.3 | 空手道部 | 第37回全国高等学校空手道選抜大会出場 |
| 2016.7 | 空手道部 | 第43回全国高等学校空手道選手権大会(高校総体)出場 | 2018.5 | アメリカンフットボール部 | 第44回関東高等学校アメリカンフットボール大会出場 |
| 2016.7 | 水泳部 | 関東高等学校水泳競技大会出場 | 2018.6 | 男子ソフトテニス部 | |
| 2016.8 | 水泳部 | | | 第69回関東高等学校ソフトテニス選手権大会出場 | |
| | | 全国高等学校総合体育大会 水泳競技大会出場 | 2018.6 | 空手道部 | 第47回関東高等学校空手道大会出場 |
| 2016.10 | アメリカンフットボール部 | 第47回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会出場 | 2018.7 | 放送部 | |
| 2017.1 | 空手道部 | 第25回関東高等学校空手道選抜大会出場 | | 第65回NHK杯全国高等学校放送コンテスト出場 | |
| 2017.1 | スキー部 | 第52回関東高等学校スキー大会出場 | 2018.8 | 放送部 | 第42回全国高等学校総合文化祭出場 |
| 2017.6 | 男子ソフトテニス部 | | 2018.8 | 男子ソフトテニス部 | |
| | | 第68回関東高等学校ソフトテニス選手権大会出場 | | 全国高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技大会出場 | |

同窓会の活動報告

「同窓会って何しているの？」

鶴ヶ丘祭のアンケートでもよくご質問をいただきます。

ここでは日々の同窓会活動を紹介します。皆様のご意見をお待ちしています。

➤ 母校への貢献

新入会員に記念品を贈呈



同窓会から卒業生(同窓会の新入会員)に卒業証書授与式で、卒業生426名に贈呈しました。
2018年3月1日

卒業式と入学式に役員が出席



入学式、卒業式に会長をはじめ役員が出席します。
2018年4月5日 入学式
2018年3月1日 卒業証書授与式

鶴ヶ丘祭への出展

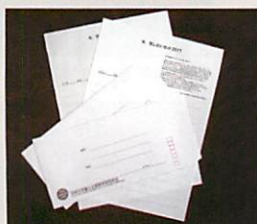


鶴ヶ丘祭では同窓会ブースを開設しました。動画の上映、卒業アルバムの閲覧、茶菓の無償サービスなどを提供しました。

卒業を祝う会の後援 ～ タイムカプセル事業～



卒業式のあとに桜園会(保護者会)の主催による、卒業を祝う会が開催されます。同窓会は「タイムカプセル」イベントで協賛しています。
タイムカプセルは、卒業7年後(卒業生が25歳になったとき)に同期会を開催して開きます。同期会の開催は同窓会の支援でおこないます。



キャリアガイダンスに講師派遣



授業の一環として1学年に向けた職業の講習会で、同窓生が講師として授業をおこないます。経験に基づく講習は好評です。

キャリアガイダンスは文部科学省告示の学習指導要綱の「総合的な学習の時間」に基づいて計画された1年生を対象にした学習単位を伴う正式な授業です。



体育祭への特別賞の提供



同窓会から特別賞として、トロフィー(スピード部門パフォーマンス部門・各男女)と副賞を提供しました。

部活動への補助



運動部、文化部すべての部に奨励金を提供しています。
関東大会以上への出場時には特別奨励金を提供しています。

寄付事業



同窓会の目的に合う寄付事業を展開しています。
来期は、卒業生もお世話になった体育館の改善への寄付を行う予定(*)です。

*：2018年度総会でご承認いただいた場合です。

同窓会の体制

同窓会会員とは？

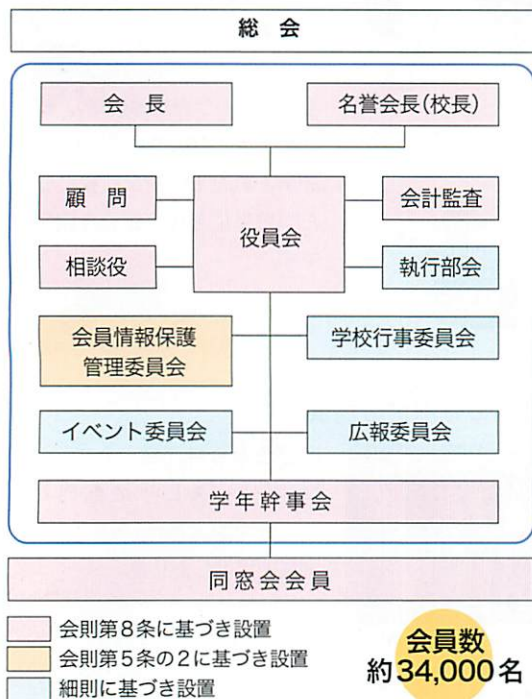
同窓会の会員は会則で決められています。

- ・母校の卒業生
- ・母校に在学した方で幹事会の承認を得た方
(中途退学した方で入会を希望した方など)
- ・母校の現教職員
- ・母校を退職された教職員

先生方も同窓会会員(特別会員)になっています。



多くのご意見を反映しています



総会が同窓会の最高意思決定機関です。

総会で議決された会則、細則や重要事項に基づき役員会を中心に同窓会活動をおこないます。

学校からの希望や、同窓生からのご意見に基づき事業を企画し、各委員会が素案を役員会に提案します。委員会の提案の起案により役員会の審議のうえ、事業を実施します。

●学校行事委員会

鶴ヶ丘祭への出展、卒業を祝う会の後援など、学校行事に関わる事業を担当します。

●イベント委員会

総会懇親会など同窓生のイベントの開催を担当します。

●広報委員会

会報誌の企画・制作、同窓会facebookページなどの広報、頒布品の企画など広報活動を担当します。

※ 同窓会活動のご協力者を募集しています。

同窓会の会計(事業)年度は当年9月1日から翌年8月31日までのです。



11月・総会・懇親会



11月・体育祭に特別賞を提供



3月・卒業式に参列



3月・卒業を祝う会の後援

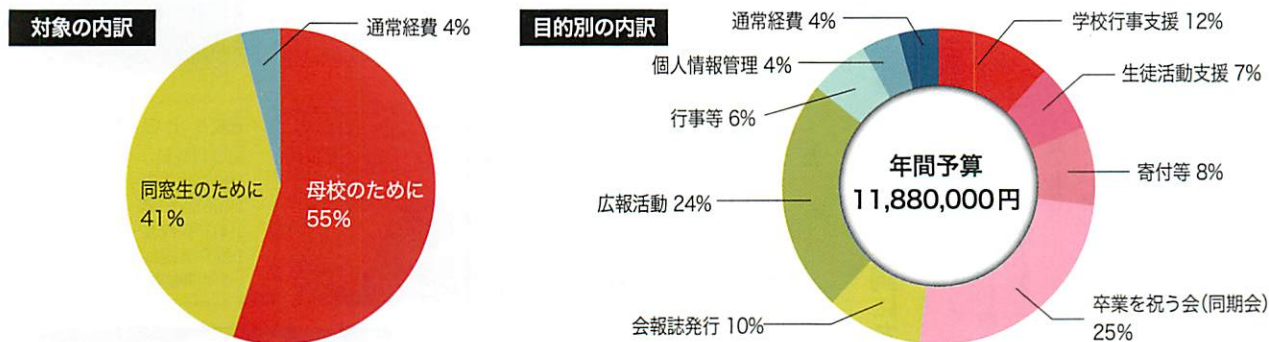
10月	11月	12月	1月	2月	3月
◎会報誌の発送	◎体育祭に特別賞を提供 ●総会・懇親会の開催	卒業を祝う会の準備▷	●新年会 学校の先生方、部活動同窓会代表にご出席いただき開催します。		◎卒業式に参列 同窓会から記念品を贈呈 ●卒業を祝う会の後援

同窓会の財務

維持会費、寄付金を大切に使う

同窓生の皆様から納入いただきました維持会費、寄付金は、同窓会の目的に合わせて、同窓生と母校のために活用しています。予算案はあらかじめ総会で説明をおこない、会員である同窓生の皆様にご承認を得ています。

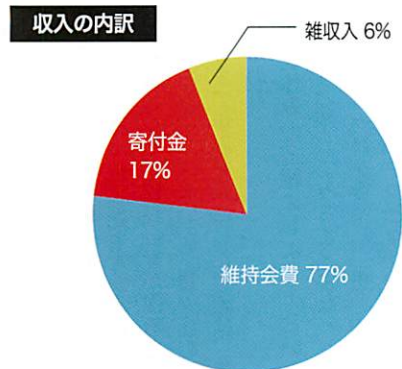
同窓会の年間予算は、11,880,000円です。(2017年予算額ベース)内訳は下記の通りです。



同窓生皆様のご厚志である維持会費、寄付金です。事務局費、通信費などの経常費はつねに経費削減を重ねています。同窓生の親睦を深めるためにその基礎となる会員名簿の厳格な管理と、広報活動に力を入れています。

また、母校の発展に協力するために、学校行事や部活動の支援をおこなっています。

母校の発展にご協力ください



同窓会の運営は、同窓生皆様からお預かりした維持会費、寄付金で賄われています。卒業時に5年分の維持会費をお預かりしています。また、維持会費納入時に併せてお預かりする寄付金は貴重な原資となっています。雑収入は、頒布品サービスによる寄付、各種イベント時の特別会費です。(銀行利息等も含まれます。)

少子化が進み学校も運営が厳しくなりつつあります。これからもさらに母校の発展に協力するためには、その原資となる寄付や維持会費が大切です。皆様のご協力をお願い申し上げます。

同窓会年間スケジュール ※ 年間スケジュールは典型的な事例です。年や状況によって異なる場合があります



4月・入学式に参列



6月・鶴ヶ丘祭に出展



8月・会報誌の制作



9月・キャリアガイダンス

4月	5月	6月	7月	8月	9月
鶴ヶ丘祭の準備▷		● 鶴ヶ丘祭			● キャリアガイダンスに講師派遣
◎ 入学式に参列			会報誌の制作▷		会報誌の印刷▷
	◎ 校園会懇親会に出席		新年度事業の策定		総会・懇親会の準備
				予算案の策定	会計決算

Historia 鶴ヶ丘

60余年の鶴ヶ丘高校の歴史に
触れるヒストリア鶴ヶ丘。
今回は校歌の誕生を紹介します。



出口忠元校長の私製本「私の心のふるさと」から引用させていただきました。



元校長 出口 忠
第5代校長
1952年 主事
1966年 参事
1967年 校長
1975年 定年退職
(4年間顧問)



元教諭 村田 英夫
1968年 音楽科
1995年 定年退職
1995年 非常勤講師
1996年 退職



「鶴ヶ丘」校歌の誕生

在校生の皆さんはもろろんのこと、多くの同窓生、特に部活をしていたりOB／OG会に参加している同窓生の皆様は卒業後もたまに、歌ったり口ずさんだりするところがあるのではないのでしょうか。鶴ヶ丘の校歌をとりあげます。

前回(2017年版会報誌)では「鶴ヶ丘」の名前の由来を記載しました。そこに大きく関わっておられた第5代校長出口忠先生が鶴ヶ丘高校の校歌を作詞されました。今回はそこに込められた想いをお届けしたいと思います。

出口忠元校長の「私の心のふるさと」から引用させていただくことにしました。

校歌の作詞にあたって

創立二〇周年を迎えたこの佳き日を下し、我が校の校歌を発表出来ることは、私の生涯で最も欣びにたえないところである。

いよいよ創立二十周年の祝典を挙げる機会に校歌を制定しなければならぬという思いが、私の脳裏から離れなかつたのである。私はかりでなく先生方も諸

君の先輩も、この思いは同じであった。然るべき大家に校歌の制定を御願いしようかとも思った。先生方とも相談したが結論として、校長自身が作ることに意味があるのではないか、鶴ヶ丘の誕生から今まで歩みを共にした意義は、そこにあるのだ。

夏休みの宿題にしようという決議になり、やってみる事になった。夏休み以来三ヶ月を費やし、想を練り、歌詞を工夫して、やっと作り上げたのが、本日諸君の手元にお配りした校歌である。一全力投球という詞が私自身に身をもって感じ取られた作品が、この校歌である。

国文の塚田先生・遠藤先生、漢文の鎌田先生を初め、国文の先生方ともいろいろ相談をし、大方の文学的才能を私の手許でまとおげた作品である。最初、私が意図したものに近い歌が出来上がったと考えている。

私の構想に若干の意見を述べれば、まず第一に平明で、格調を失わないこと。第二に長いものでない冗長にならないこと、要するに気品高く、簡にして要を得た歌であるということである。

その次は、左の三つの条件を是非充たしたいと思つた。

1には、理想を抱く若人の姿を歌いたい。

2には、紅の血潮に燃ゆる、我が校の校旗の象徴、若人の情熱を歌いたい。

3には、鶴ヶ丘の「鶴」と、日本大学精神の象徴である「桜」をどうしても歌

い入れねばならないということであった。

一、理想、二、情熱、三、和衷協同の精神、この三つの理念を、三節の歌の中に展開させたいというものであること。

一色々慾の深い思いを抱いたのである。苦心の結果、私の希望するものは、すべて盛り込むことに成功したと私自身は自負している。

試しに第一節を見て戴きたい。

果てしなき 碧き大空
羽ばたくは 銀の鶴
青春の 理想仰ぎて
高らかに 天翔りゆく

鶴ヶ丘高校の若人のけがれなき清浄さを、真白な鶴に譬えたい。そのしろがねの鶴が、青春の思想を仰いで、高い理想をめざして、果てしない碧き大空を、力一杯翼をひろげて飛翔する姿をうたつたのである。

何物も犯さすことができない。無垢清純な若人の姿を、天翔る鶴に見立てたわけである。これこそ、いうなれば諸君の姿なのである。無垢清純とは単に外形をいつたのではなく、汚れに染まらない、その心をも謂つたのである。

第二節をみてもらおう。

湧き出する 泉かがよい
若 桜 ゆたかに匂う
紅 ぞ われらが生命
いざとにも 育み行かん

大地から滾々と湧く泉こそは、生命の源泉である。この地は和泉を冠しているところ、しかも若人の生命は若桜に譬えられる。日本大学の精神は桜、吾等高校生は若桜である。

やがては爛漫と咲き誇る若桜のように、諸君は若々しく薫っているのである。誇りに輝いているのである。「紅」の色をもつて表すことが出来る、情熱ことわれら、一すなわち諸君の生命である。この情熱を、いざともに忘れることなく、ますます色濃く、手にとつて育んで行きたい。大いにぞだてて行きたいと云う決意をうたったのである。

第三節をみてみよう。

見はるかす 芙蓉の高嶺
そそり立つ 白亜の母校
諸木々の みどり葉さやに
むつみあい 永遠に栄えん

関東平野から、大輪の芙蓉の花のように、美しい富士山を遙かにのぞみみることが出来る甲州街道に、白亜の殿堂がそそり立っている。これぞ我が母校である。芙蓉の嶺というのは、昔から言い伝えられている、富士山の別称である。

この歌詞は富士山の望まれる位置に学校が所在しているということ、秀麗な芙蓉の峯のように、我が母校が美しくあるということの双方の意味を含んでいると解してもらいたい。しかもそこにある多くの木々は、みどりもさわやかに繁り合い、フレンドリーな姿で、あたかも諸

君らの友人同志が、先生と生徒が、仲良く学んでいることに譬えられよう。このように和衷協同して、我が校を、いよいよ栄えさせたいという意味に外ならない。

(省略)

Tempo di marcia J=112

校歌

出口 忠 作詞
村田 英 夫 作曲

(一) 果てしなき 雲き大空
羽ばたくは 若桜の
青春の 理想仰ぎて
高らかに 天翔りゆく
あゝわれら 日本大学
鶴ヶ丘

(二) 初き出づる 泉かどよい
若桜 ゆたかに匂う
紅ぞ われらが生命
いざともに 育みゆかん
あゝわれら 日本大学
鶴ヶ丘

(三) 見はるかす 芙蓉の高嶺
そそり立つ 白亜の母校
諸木々の みどり葉さやに
むつみあい 永遠に栄えん
あゝわれら 日本大学
鶴ヶ丘

「私の心のふるさと」から転載

史が続く限り、歌い続けていただきました。

(昭和46年1月20日未明記)

校歌の作曲にあたって

村田英夫

この歌は期せずして、内容、理念・構成において、日本人全体に通ずる精神と共通するものを内包する歌になつていと思うが、諸君は如何か？

その界の権威である。村田先生の作曲に私の歌詞も一層生彩を放つことが出来るようにと希うものである。

諸君よくこの歌の精神を理解し、心をそるえ、声を大にして、鶴ヶ丘高校の歴史

校歌の制定については出口校長が作詞され、私に作曲しろとの話があったのはたしか六月頃であつたと思われる。かつて二十余曲校歌の作曲を依頼されたが、本校二〇周年記念であり、しかも自分が

奉職している学校の校歌の作曲となると、これまでの創作態度、意欲とは全く別の感がする。大変な栄光と思つて出る。

出来上がった校長の作詞を拝見すると、誠に格調が高く、大らかで洋々たる鶴ヶ丘高校の前進をうたつており、永いこと本校の発展に努力されている校長の精神が現れている。

私は事の重大さを覚えた。

作曲するにあたり意図したことは、第一節の歌い出し、「果てしなき」の語感をどう音楽表現するかということ、しかも後に続く歌詞にうまくのるのか、ということと約二週間心にあたためていた。出来上がった旋律は、前進の気運をもつたものと私は思っている。

「あゝ、われら日本大学 鶴ヶ丘 鶴ヶ丘」と皆が胸をはって、我が鶴高を歌い上げたい。

この機会を私に与えて下さつた校長、教職員の先生方に感謝致します。

母校ホームページで校歌を聴くことができます。

<http://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp/introduction/history.html>



参考文献引用

出口忠著 私の心のふるさと
昭和57年12月22日発行

We will make Your Dream Come True

鶴高の今を知る。



Message | 卒業生の皆様へ

第15代校長 川原 容子

平生より、本校の生徒へ多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。本校では現在1,257名の生徒が、鶴ヶ丘高校の伝統を受け継ぎながら、学業・部活動・生徒会活動などに積極的に取り組んでおります。私自身も、鶴ヶ丘高校の教員として務めさせていただいて35年余りが経ちました。大変に幸せなこと、この場を借りて、改めて感謝を申し上げます。

特に担任をしている間には、多くの卒業生と直接かかわり、共に過ごす中で私自身が育ててもらったと感じています。久しぶりに会うと、卒業生の成長を直接感じることもでき、教師冥利に尽きると実感する次第です。鶴高が少し「やんちゃ」な時代、教員としての力不足を感じることもあり、悩んだこともありますが、今となってはとても良い思い出です。

現在、教育界では改革の波が押し寄せて来ています。その中で鶴ヶ丘高校ではどうしていくかを一步一步、歩きながら、時には走りながら考えていかなければなりません。鶴高の歩んできた道のりを考えたとき、諸先輩方の力強い背中を見てきて、現在の教職員たちとも出来ないことはないと考えています。

教員一人一人は日々の研鑽を怠らず、情熱を持って人づくりに寄り添うことを心掛け、学校全体としては「チーム鶴ヶ丘」で頑張りたいと思っています。その上でしっかりと「対話」のできるチームを作って、次の方にバトンをお預けしたいと考えています。

今、鶴ヶ丘高校は教職員が生徒達と「対話」を通じて主体的に考え、鶴のごとく飛翔していけるチームになりつつあります。今後の生徒達の活躍や教職員たちの頑張りに、今まで以上にご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

また卒業生の皆様の活躍を本校ホームページやこの会報誌izumiを通じてご報告いただけると、さらに後輩たちも頑張れると思います。ぜひ今後とも後輩たちへの強いメッセージなどもいただけますよう、宜しくお願いいたします。



入学してよかった！文武両道、リア充の鶴ヶ丘

●高い進学率

日本大学への推薦入学を目指す「普通コース」、国公立大学・難関私立大学への一般入学試験を目指す「特進コース」、どちらも高い進学率を誇ります。

●多い子弟入学

親子や兄弟姉妹で入学する生徒が多く、三代にわたって鶴ヶ丘卒業という生徒もめずらしくありません。68年にわたる信頼の証です。

●文武両道

教育目標のひとつとして「文武両道の実践」を掲げています。充実した教育指導とともに、体育祭、水泳大会、生徒会活動や部活動がとても充実しています。

●異文化との出会い

海外修学旅行、語学研修(希望者対象)、ケンブリッジ大学での研修(同)等、社会で必要とされるグローバル化の基礎となる異文化との出会いがあります。

●「人」を育む

学校を訪れるとすれ違う生徒から「こんにちは」と挨拶されるでしょう。学力だけでなく、挨拶・礼儀・身だしなみ等の大切さ、「人」を育む教育です。

年間行事

高校生活を充実させる年間行事。学力の向上とともに、日常の学校生活を通して、バランスのとれた人間を育てます。



- 4月 新入生オリエンテーション(1年)
- 5月 校外授業(2、3年)
- 6月 英語スピーチコンテスト、鶴ヶ丘祭(学園祭)
- 7月 海外語学研修、サマープログラム
- 8月 部活動夏期合宿
- 9月 キャリアガイダンス(1年)
- 10月 水泳大会、修学旅行(2年)
- 11月 体育祭
- 12月 スキー学校
- 2月 芸術鑑賞

(一部のみの掲載)

充実した部活動

全国大会、関東大会をはじめ、多くの実績を持ちながら高校生活を豊かにする多彩な部が活動しています。

アメリカンフットボール部	バスケットボール部(男子)	ソフトテニス部(男子)	英語部
野球部	バスケットボール部(女子)	ソフトテニス部(女子)	吹奏楽部
剣道部	バレーボール部(男子)	弓道部	バトントワリング部
空手道部	バレーボール部(女子)	放送部	カラーガード部
スキー部	バドミントン部	演劇部	茶・華道部
水泳部	テニス部	写真部	料理部
陸上競技部	ゴルフ部	サイエンス部	書道部
サッカー部	ウエイトリフティング部	情報部	ダンス同好会

入試学校説明会スケジュール

- ・平成30年11月10日(土)14:00～
 - ・平成30年11月24日(土)14:00～
- 本校体育館にて開催します。右記よりご予約ください。
推薦入学や入学試験のお問い合わせをお待ちしています。
※ご連絡時は「同窓生」であることをぜひお伝えください。

■ここに紹介した内容の詳細は下記をご覧ください。

日本大学鶴ヶ丘高等学校ホームページ
www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp

日本大学鶴ヶ丘高等学校
Tel.03-3322-7521

普通コース

主に日本大学への付属推薦入学を目指します。

カリキュラム

1年次	芸術(音楽・美術)の選択による クラス編成
2年次	希望する学部に合わせて、文系・理系 クラスを選択
3年次	他大学一般受験クラスを設置

日本大学の各学部を第1希望とした進学をめざすためにバランスのとれたカリキュラムを設定。多くの生徒が鶴ヶ丘祭(学園祭)などの生徒会活動や、充実した部活動に参加しています。



特進コース

国公立大や難関私大を一般受験で目指します。

カリキュラム

1年次	受験の基礎となる3教科に重点
2年次	文系・理系を選択 理系は英語・数学・理科に重点 文系は英語・国語・地歴公民に重点
3年次	応用力養成のための選択科目、 補習が充実

応用力養成講座、夏期合宿講習、頻繁な模擬試験、経験豊富な塾講師による外部講座を提供します。少人数制できめ細やかな指導が本校の特徴です。



親子インタビュー

竹之内 隆宏さん

1987年(S62)本校卒業
担任：井上一雄先生(1・2年)
勝島譲吉先生(3年)
部活：ラグビー部

長男(3年)は学校見学を訪れた際、生徒たちの明るい態度や笑顔の挨拶に接し、ぜひこの学校に入りたいと思ったようです。次男(1年)は兄が楽しそうに鶴高に通う姿を見て自分も行きたいとなりました。現在は2人ともバスケットボール部に所属し、楽しい鶴高生活を送っています。

のびのびと明るい雰囲気、校風は当時とあまり変わらない気がします。これは代々の先生方が受け継いでこられたおかげでしょうか、本校の素晴らしいところだと思います。

自身の通っていた頃比べると学力もかなり高いものとなっていて、進路指導にも真剣に取り組んでくださいます。また、現校長の川原先生、教頭の新藤先生をはじめ自分が現役生の頃にお世話になった先生方も多数おいでになり、安心して息子たちを通わせています。



竹之内 悠佑さん(写真中央)

普通コース3年 男子バスケットボール部

竹之内 駿佑さん(写真左)

普通コース1年 男子バスケットボール部

楽しく毎日通っています。生徒は明るく、しっかりとした挨拶もでき素敵な学校です。

父が卒業生なので学校の話やいろいろと聞くことができます。また、父のことを覚えていてくれる先生から気軽に声をかけていただけるのもうれしいです。

日本大学の進学

2017年度卒業生実績

学部名	人数
法学部	46
文理学部	54
経済学部	38
商学部	11
芸術学部	13
国際関係学部	1
危機管理学部	6
スポーツ科学部	3
理工学部	33
生産工学部	2
工学部	0
医学部	0
歯学部	3
松戸歯学部	1
生物自資源科学部	45
薬学部	6
短期大学部	0
専門学校	0
合計	262

日本大学への推薦入試

3つの推薦方式があります。

A 付属特別選抜方式

B 基礎学力選抜方式

C 国公立併願方式（一部の学部で実施）

●A、B、C各方式とも、推薦後に各学部で適性試験、筆記試験（小論文、作文）、面接等があります。

（学部により実施内容は異なります）

●B、Cでは、基礎学力到達度テストの結果に基づき、複数回のセレクションがおこなわれます。

※基礎学力到達度テスト

2年次に1回、3年次に2回、全国の付属高校の生徒を対象として実施される試験です。

※セレクションは、基礎学力到達度テストの結果による選抜です。

※特進コースからの推薦入試はありません。

日本大学に進学を希望される場合は、一般入学試験を受ける必要があります。

他大学への合格状況

2017年度卒業生実績

大学名	普通	特進	合計	大学名	普通	特進	合計
国公立大学				成蹊大学	3	3	6
東北大学	-	2	2	成城大学	6	4	10
群馬大学	-	1	1	明治学院大学	5	1	6
千葉大学	-	2	2	國學院大学	1	3	4
東京海洋大学	-	1	1	武蔵大学	4	-	4
電気通信大学	-	1	1	東洋大学	4	3	7
東京工業大学	-	1	1	駒澤大学	4	1	5
静岡大学	-	1	1	専修大学	1	2	3
首都大学東京	-	1	1	芝浦工業大学	2	5	7
福井県立大学	-	1	1	東京電機大学	1	1	2
私立大学				東京都市大学	1	1	2
早稲田大学	2	6	8	工学院大学	2	3	5
慶応義塾大学	1	-	1	日本女子大学	3	1	4
上智大学	3	5	8	津田塾大学	-	4	4
東京理科大学	7	7	14	東京女子大学	1	3	4
学習院大学	6	4	10	Hamilton College	-	1	1
明治大学	2	8	10	The University of Melbourne	-	1	1
青山学院大学	5	2	7				
立教大学	2	6	8				
中央大学	-	7	7				
法政大学	8	3	11				
				日本大学	27	65	92

※日本大学は一般入試合格者数

3年間の進路指導内容

きめ細やかな進路指導

普通コース・特進コースともに高校3年間を通して段階的な進路指導をおこなっています。1年次に実施される職業理解のためのキャリアガイダンスでは同窓会も全面的にバックアップをし、文系・理系を選択するための一助となっています。また、2年次には大学・学部・学科の理解を深め、3年次ではその決定をいたします。生徒個々の目標達成に向けて教職員・同窓会を挙げてサポートしています。

整った学習施設

蔵書数約5万冊を誇る図書館の自習室をはじめ6号館自習室、1号館学習室など集中して学習のできる環境も整っています。

充実の学習講座

実力養成講座をはじめ夏期講習や外部講座など授業以外の学習システムを開講しています。特進コース・普通コースそれぞれに学力の向上を目指し、生徒ごとの目的や個性に合った学習をすることができます。

同窓会グッズの頒布

同窓会ではグッズを頒布しています。



お申し込み方法

- ・同窓会ホームページまたは、申込はがきでお申し込みください。
- ・頒布料金は頒布品納品時に添付してある請求書をご覧のうえ、銀行振り込みでお願いします。(後払いです)
- ・消費税はかかりません。送料は別途ご負担ください。

おすすめ

- ・同期会、クラス会の記念品、手土産
- ・スポーツの試合の応援
- ・卒業時の記念、入学時のプレゼント

スポーツタオル

卒業記念品として、卒業生に贈呈しているものです。スポーツ観戦時にもぜひ!



サイズ:115cm×40cm
生地:綿100%

注文No.	頒布価格
9864	2,000円

巾着

ちょっとした小物や身の回りのものを入れて整理整頓。使い勝手の良い巾着です。



サイズ:17cm×26cm

色	注文No.	頒布価格
紺	6765	280円
ピンク	8253	
2色セット	3495	500円

マフラータオル

野外の応援で首筋を日差しから守ります。



◀両端の絵柄

サイズ:105cm×25cm
生地:綿100%

注文No.	頒布価格
8875	2,000円

デニムポーチ

ペンシルケースや、小物入れに最適。旅行や出張でも小物をひとつみまとめて便利。



サイズ:23cm×16cm
材質:デニム生地

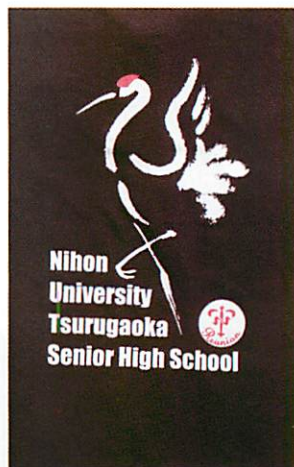
注文No.	頒布価格
2670	530円

鶴高パーカー

同期会やクラス会のスタッフ用に！



左胸には、
Nihon University
TSURUGAOKA Senior
High School Reunionの文字
背面には鶴のロゴを大胆に
プリントしました。



▲背中側のデザイン



サイズ:M, L, XL, XXL 各寸法は下記の表をご覧ください。
ブランド: Printstar 9.7oz スタンダードジップパーカー

サイズ	身丈	身幅	肩幅	袖丈
M	67	53	47	62
L	70	56	50	63
XL	73	59	53	63
XXL	76	62	56	63

(cm)

サイズ	注文No.	頒布価格
M	3636M	6,000円
L	3636L	
XL	3636XL	
XXL	3636XXL	

同窓会グッズ頒布サービスについて

同窓会グッズの頒布方法

- ・頒布のお支払いは銀行振込みのみです。
- ・頒布品と一緒に請求書を同封します。お振込みをお願いします。
- ・頒布金額には、荷造送料が含まれていません。
- ・同窓会グッズに消費税は必要ありません。
- ・荷造送料などの諸経費には消費税がかかります。

必要な経費

- ・上記の頒布金額以外に荷造り送料が必要です。
- ・荷造り送料は、1,080円(税込)です。
- ・荷造り送料は、ご依頼内容(頒布品の種類や数量)や、発送先を問わず一律です。

注意事項とお願い

- ・同期会やクラブOB会で多く必要な場合は、メールにてご連絡をお願いします。
- ・仕様、品質は同窓会活動で配布するものと同じです。応援グッズのように短期間に製造するものもあり、印刷の擦れやズレ、成型のバリや変形などが生じている場合があります。あらかじめご了解ください。これらを理由とした返品は致しかねます。
- ・頒布品を転売しないでください。(ネットオークション等の競売もおこなわないでください。)
- ・納品書や領収書は発行しません。
- ・数量限定頒布です。上限数に達しましたら頒布を中止します。
- ・同窓生だけが申し込みできます。
- ・本サービスは日本国内のみ対応しています。(海外からのご依頼、海外への発送はおこなっていません。)

鶴高ネクタイ

NTマークと鶴のロゴの刺繍入りネクタイが登場！



A



B



C



D



▲NTマークのロゴ入り



▲鶴の刺繍入り

生地：絹100%

	デザイン / 柄	注文No.	頒布価格
A	レジメンタル ワンポイント 150cm	3456	6,000円
B	無地 ワンポイント(紺地) 150cm	1346	
C	無地 ワンポイント(ピンク地) 150cm	8756	6,500円
D	無地「鶴」絵柄(紺地) 150cm	7654	

鶴高ポロシャツ

デザインはパーカーと同じです。



◀おもて側



◀背中側

サイズ:M, L, XL, XXL 各寸法は下記の表をご覧ください。
ブランド：Jellan 6.8oz コットンポロシャツ

サイズ	身丈	身幅	肩幅	袖丈
M	68	49	43	22
L	71	52	46	23
XL	75	55	49	24
XXL	79	59	53	25

(cm)

サイズ	注文No.	頒布価格
M	2334M	3,800円
L	2334L	
XL	2334XL	
XXL	2334XXL	

応援グッズ

スポーツ観戦に必携!? 届け! 同窓生の応援。

応援うちわ、メガホン、Tシャツをセットにした応援グッズです。TシャツはMとLを選べます。



うちわ: プラ骨、コート紙
Tシャツ: 綿100%

※ご注意

仕様、品質は同窓会活動で配布するものと同じです。応援グッズは短期間で製造するものもあり、印刷の擦れやズレ、成型のバリや変形などが生じている場合があります。あらかじめご了承ください。これらを理由とした返品は致しかねます。

	注文No.	頒布価格
TシャツMサイズ・セット品	6437M	2,000円
TシャツLサイズ・セット品	6437L	

校章入り 扇子

表面は桜色のグラデーションをベースに、中央に校章をあしらいました。裏面はNTマークです。



サイズ: 長さ 22.5cm 左右最大幅 約40cm
親骨: 孟宗竹(白竹) 中骨: 33本 紙: 上質紙両面

注文No.	頒布価格
9333	1,280円

頒布品収益は母校に寄付

同窓会では卒業生に記念品を毎年贈呈しています。同窓生からも同じものが欲しいという希望が多々あるため、同窓会では学校および甲子園出場後援会の協力と許諾を得て、同窓生を対象にオリジナルグッズ頒布のサービスを開始することになりました。

ただし同窓会は収益事業ではありませんので、ご寄付をいただいた方にお礼として同窓会グッズを頒布するという形を取らせていただきます。売上から原価経費を除き、すべて寄付金とさせていただきます。

簡易トートバッグ

A4の紙が入ります。



サイズ: 28cm×34cm
生地: 不織布

※耐久性はありません。簡易版です。
※サイズは持手を含みません。

色	注文No.	頒布価格
濃いピンク	4925A	200円
薄いピンク	4925B	
紺	4925C	

鶴高バッジ (復刻版)



制服が詰め襟の時代に着用していたバッジを復刻しました。

※ピン止め方式です。

注文No.	頒布価格
5441	500円

同窓会からのお知らせ

維持会費納付のお願い

同窓会は卒業生からの維持会費により運営されています。ぜひ、ご理解をいただきご支援くださいますようお願い申し上げます。(平成26年～30年卒業の方は卒業時に5年分をお預かりしているため不要です。)

維持会費(年額): 3,000円

維持会費は年度ごとをお願いしています。あくまでも会員皆さまのご厚意をいただくものです。

納入されていなくても、過去に遡って請求されることなどはありませんので、誤解のないようお願い申し上げます。

※ 総会懇親会の会費とは異なりますので、ご注意ください。

同窓会創設50周年寄付のお願い

同窓会50周年記念事業の一環として寄付をお願い申し上げます。会員相互の親睦向上と、母校の発展のために皆さまかの暖かいご支援をお願い申し上げます。2013年度は母校総合グラウンドの竣工に伴い運動器具(鉄棒・平行棒・クライミングロープ)の寄贈をしました。2018年度は母校アリーナ(体育館)の改善に寄与する予定です。(2018年度総会での承認を得て実施する予定です。)

寄付(1口): 2,000円

維持会費・寄付のお申し込み方法

●郵便局から

口座名義: 日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会
口座番号: 00150-4-613083

●銀行から

銀行・支店名: ゆうちょ銀行 〇一九店(ゼロイチキュー店)
口座名義: 日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会
口座番号: 当座 0613083

ご意見・思い出の品募集



在学時代の制服、スクールバック、クラブバッジなど学生時代の思い出の品をお持ちでしたら、同窓会までご連絡ください。同窓会では皆さまから思い出の品をお預かりして、鶴ヶ丘祭などでご紹介しています。懐かしい青春時代の再現にぜひ、ご協力をお願い申し上げます。

皆さまからの幅広いご意見をお待ちしています。

ご意見、思い出の品に関する情報は巻頭の連絡先までお問い合わせください。

※ 個人情報の取り扱いにつきまして

個人情報はプライバシーポリシーを設け、会長が委員長となる会員情報保護管理委員会で適切な運用をしています。プライバシーポリシーの全文は下記のWebページをご参照ください。
<http://www.ntdosokai.org/html/pp.html>

総会 / 親睦会のお知らせ



下記の日程で、同窓会総会と懇親会を開催します。
皆さまご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、ご出席を賜りますようご案内申し上げます。

開催日時：2018年11月17日(土)
総会開会 13:30 (受付 13:00 ~)
学校見学会開始 14:30
懇親会開宴 15:00 (受付 14:30 ~)

開催場所：総会大会議室
懇親会地下生徒食堂

会 費：3,000円 (学生無料)

当日参加予定の先生方は下記のWebページに逐次掲載する予定です。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.ntdosokai.org/2018party.html>

お願い 会報誌と総会懇親会のお知らせが届いていない同窓生もいます。
ぜひ、お近くの同窓生にお声がけください。ご連絡いただければ会報誌を発送します。

同期会・クラス会・クラブOB / OG会の開催支援



同窓会では同期会、クラス会、クラブOB/OG会の開催の支援をおこなっています。これらの会を開催したいときはぜひ、ご連絡ください。

●同窓会名簿データの活用

同窓会会員(卒業生や先生方)の個人情報は、同窓会の規約により提供することができません。皆さまに代わり発送の代行を行うことにより、個人情報を保護しながら多くの同窓生に連絡することができます。

※ 受取拒否を届け出ている方には発送できません。

●「開催案内」発送代行サービス

幹事の皆さまに代わり「開催案内」を発送を代行します。

- A. 先生方(現役、退職された先生方)への発送
 - B. ご指定いただいた卒業年度、クラスを限定して発送
 - C. ご指定いただいた方に発送
- 幹事会でわかる範囲で発送をおこない、連絡先不明者だけ発送することも可能です。(C)

<手 順>

- ① 発送する書面や返信はがきをご用意ください。
 - ② 同窓会の封筒で発送します。
 - ③ 返信は幹事会に戻ります。
- 費用は実費を申し受けます。詳細はお問い合わせ下さい。

●学校での開催

母校の地下食堂で開催することも可能です。
学校での開催となりますので、下記の条件を遵守してください。

- ・授業や学校行事との調整が必要です。
- ・料理を提供することができます。(有償)
- ・飲酒は可能ですが条件があります。
- ・校内は禁煙です

●頒布品の提供

同窓会で企画製作した同窓会グッズを有償で提供します。詳しくは頒布品サービス(P.26)をご覧ください。(不織布簡易トートバックを無償提供)

同窓会会報誌を提供します。動画の上映などに必要なプロジェクト等を貸与できます。(無償)

メッセージを伝えよう

同窓会の目的のひとつは「会員相互の親睦向上」です。それを実現するために、同窓生皆さまの情報交換に力をいれていきたいと考えています。

情報提供・発信の方法

定期的な情報提供

- ・会報誌

リアルタイムな情報提供

- ・ホームページ
- ・公式ホームページ
- ・公式 facebook ページ
- ・facebook ページ IZUMI

リクエストによる情報発信

- ・会報誌と同時に発送する情報
- ・同窓生への代行発送
- ・退職した先生への代行発送

情報提供・発信の内容(例)

- ・同期会(同じ卒業年の同窓生)の開催
- ・クラス会(同じクラスの同窓生)の開催
- ・同窓会(すべての同窓生)総会懇親会の開催
- ・クラブOB/OG会の開催
- ・同窓生の会社やお店の紹介
- ・同窓生の活動の紹介

提供・発信できない内容

下記の内容は同窓会では取り扱いができませんので、あらかじめご了承ください。

- ・政治、宗教、思想に関する内容
- ・規定以外の個人情報に関する内容

同窓会ではこれからも新しい方法を含めて、情報提供や発信の機会や内容を充実していきます。

同窓生皆さままでご希望の方は、同窓会事務局(p.2の連絡先)までご連絡ください。



空手道部OB会からのお知らせ

同窓生の活躍を応援します

2017年卒 尾野真歩さん(空手道部OG)後援会発足のお知らせ



この度、本校空手道部OB会では尾野真歩さんの応援サポートを目的として後援会を発足いたしました。

尾野さんは本校在学中の2016年、第71回国民体育大会に出場し《少年少女形》第2位、また第44回全日本空手道選手権大会では《女子個人形》第5位という輝かしい成績を挙げられました。現在は2020年の東京オリンピック出場を目指して稽古に励んでおり、東京都が主宰する平成30年度「東京アスリート認定選手」にも選ばれています。

当後援会では、活躍する尾野真歩さんを空手道部OB会を中心として応援していきたいと考えています。

何とぞ、皆さまの暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本大学鶴ヶ丘高等学校 空手道部OB会一同

※詳細につきましては同窓会ホームページより随時お知らせします。

尾野真歩さんの主な戦績

2016年(日本大学鶴ヶ丘高等学校3年)
第45回 全日本空手道選手権大会 女子形 第5位

2017年(慶應義塾大学1年)
第45回関東学生空手道選手権大会 女子個人形 準優勝
第61回全日本学生空手道選手権大会 女子個人形 第3位
第48回関東空手道選手権大会 成年女子形 準優勝

2018年(慶應義塾大学2年)
第46回関東学生空手道選手権大会 女子個人形 準優勝
第49回関東空手道選手権大会 成年女子形 準優勝
平成30年度 東京アスリート認定選手

Rota Scuba Center RUBIN

日本からグアム、サイパン経由で30分。
自然の楽園・世界トップクラスの透明度を誇るROTAの海は、ビギナーダイバーにはリラックスと感動を、ベテランダイバーには心に残る冒険を約束してくれる事でしょう。
詳細はHPをご覧ください。



北マリアナ諸島口夕島

住 P.O.Box1278, Liyo, Rota, MP96951 CNMI, US
電 電話:1670-532-5353
HP <http://rotarubin.com/>

山本 博(77年卒)

すし処 みこし

吉祥寺の釣狂鮎処「みこし」！天然物にこだわり築地で仕入れる魚は新鮮そのもの。
店主は「みこし」と「釣り」が大好きです。祭り好きな方！釣り好きの方！旬の食材の寿司・一品料理と美味しい酒をご用意してお待ちしています。ランチタイムもぜひご利用ください。



中央線・井の頭線 吉祥寺

住 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-13-9 山本ビル
営 ランチ11:30～13:15、夜17:00～22:00
電 0422-21-0263
休 毎週水曜日

店主:山本 朗(75年卒)

中高年 BAR

ちょっと変わった店名ですが普通のBARです。なんと店主は建築プロデューサーです。お酒を飲みながら建築や不動産の無料相談だっています。まったくと静かな時の流れる店内でおつるぎください。土曜・日曜は昼飲みも楽しめますのでお気軽にどうぞ！



小田急線・井の頭線 下北沢

住 東京都世田谷区北沢2-9-23
営 17:00～23:30(月～金)、14:00～23:30(土・日)
電 03-6379-3372
休 不定休

店主:朝妻(82年卒)

琉球料理 みやらび

創業昭和32年。沖縄伝統料理と創作料理のコラボレーション！自慢の沖縄宮廷料理から沖縄の家庭料理まで。これからの季節は鍋料理も！沖縄の伝統と文化を守り創作する新しい琉球料理をコース・アラカルトでお楽しみください。ランチにもぜひご利用ください。



中央線行線など市ヶ谷

住 東京都千代田区九段南3-4-3 アウラ九段1F
営 ランチ11:30～14:30(LO14:00) 夜17:30～23:00(LO22:00)
電 03-3261-3453
休 毎週土曜、日曜、祝日

店主:川田(旧姓:田辺)裕美子(77年卒)

あかしあ整骨院

肩こりや腰痛など本当の痛みの原因を知りたくありませんか？当院では体の痛みの原因がどこにあるかを徹底的に問診して調べていきます。
痛いところだけをマッサージするようなその場限りの治療は致しません。
是非お気軽にご相談下さい。



西武新宿線 小平

住 東京都小平市学園東町3-13-1 アーバニー 25 1F
営 9:00～12:00・15:00～21:00 日曜・祝日休 駐車場2台あり
電 042-345-6622
HP <https://akasia.jp>

阪野 智治(92年卒)

まぐろ処

渋谷で昭和にタイムスリップしませんか？渋谷の名所、渋谷のんべい横丁に店を構えて34年。新鮮な食材を仕入に毎朝「築地」へ出掛けます。活きの良い旬の食材と美味しいお酒を用意してお待ちしています。向かい側、甥っ子の店おでんの「なだ一」もよろしくお祈りします。



山手線など 渋谷

住 東京都渋谷区渋谷1-25-10 渋谷のんべい横丁
営 18:00～23:00
電 03-3486-0150
休 毎週日曜、祝日

店主:高橋(旧姓:富永)範男(80年卒)

東京無線グループ 開進交通株式会社

開進交通は、都内23区を中心に、車両台数85台で営業しております。
「サービス」と「安全」を基本にお客様により質の高いタクシーサービスをお届けできるようスタッフ一同努めております。
タクシーご利用の際はぜひ東京無線グループをご利用下さい。



都営三田線 蓮根駅

住 東京都板橋区坂下3-25-1
営 9:00～17:00
電 03-3967-7001
休 無休

広村 仁載(84年卒)

隠れ家食堂 空飛ぶこぶたや

家庭では出来ない家庭料理がコンセプトです！お一人様は食堂として・多人数で居酒屋として・ライブハウスとしても！
音響設備・ドラムセットも完備定番豚料理の他に絶品ゴーヤチャンプルーなど沖縄料理も充実、北の極上豚「三元豚佐助」と南国沖縄とのコラボをぜひ！



小田急線・井の頭線 下北沢

住 東京都世田谷区北沢2-19-17 沢田屋ビルB1
営 17:30～翌2:00
電 03-6751-0303
休 月曜日

店主:永尾 大(88年卒)

日生永福町駅前保育園ひびき

2015年4月に開園！1～5歳迄のお子様を預る私立認可保育園です。自然と五感・愛着・自己肯定感を育む保育を担っています。AIに負けない精神力知力。人としての大切な土台を作り輝く未来を支える子ども達と一緒に育みましょう。保育士大募集中です。一度ご来園を！



京王井の頭線 永福町

住 東京都杉並区永福2-54-8 プレシール永福1・2F
営 7:00～20:00 永福町南口徒歩1分(ローソンの先)
電 03-6379-2815 (FAX:03-6379-2816)
休 日曜日・祝日・年末年始 園長:岡村 真理(旧姓:田中)(81年卒)

calme

calmeは1977年に生まれました。フランス語で“落ち着き”を意味するその名の通り、大人の隠れ家のような Superiorな空間に上質なヘアカラーをはじめ「AVEDA」「ESTESSIMO」などのトップブランドでファーストクラスのヘッドスパ等をご提供しています。



中央線など八王子

住 東京都八王子市中町3-8 1F
営 10:00～20:00
電 042-631-5789(ご予約優先)
休 火曜日

内田 昇(72年卒)

高村法律事務所

弁護士 高村定憲(たかむらさだのり)

倒産、クレジットサラ金、労働、不動産、会社、交通事故
離婚等の家族問題、相続、民事一般、刑事、各種法律相談

〒167-0051 東京都杉並区荻窪4-32-3
AKオギクボビル5階501号室
TEL03-3398-8880 FAX03-3398-8890
E-mail taka-law@sea.plala.or.jp

本校79 / S54卒 日本大学法学部S58卒

公益財団法人 全日本空手道連盟

理事
事務局長

日下 修次

〒135-8538 東京都江東区辰巳1丁目1番20号
電話 03-5534-1951
FAX 03-5534-1952

Dental Clinic

飯田歯科医院

〒186-0003 東京都国立市富士見台 2-13-15
TEL.042-575-4613
休診日 / 日曜・祝日

歯科医師 / 80年卒 歯学博士 松原在明 (3-D) 日本大学歯学部卒

弁護士 柳田 康男

弁護士法人 やなぎだ

〒160-0004
東京都新宿区四谷 2-13-27 KC 四谷ビル 3F
TEL03-5925-8030
<http://www.yanagida-law.jp/index.html>

(昭和61年卒業 アメリカンフットボール部)

庭木庭石・造園設計・施工・管理

株式会社 小関田中園

代表取締役 田中則雄

本社 〒177-0045 東京都練馬区石神井台 8-18-41
TEL03-3929-0523 FAX03-3594-1800

日本大学鶴ヶ丘高等学校 昭和62年度卒業
日本大学農獣医学部 平成4年卒業

はやしデンタルクリニック

歯科・小児歯科・歯科口腔外科・審美歯科・インプラント

院長
林 建一
はやし けんいち

休診日 / 水曜・祝日 土曜・日曜診療あり

〒185-0022 東京都国分寺市東元町 2-13-7
シャトレー東元町 1階
TEL・FAX 042-306-6588

歯科医師 / 94年卒(3-D)日本大学歯学部卒

家族みんなで使える進学サイト

アクセス進学

大学進学説明会

アクセス進学フェア



<http://naninaru.net/shingakulab/>

アクセス進学

検索



株式会社 アクセスリード

東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー24階
TEL.03-5774-2330 事業所:関西・名古屋・札幌・福岡

大学生のための就職情報サイト

アクセス就活

就活イベント

アクセス就活フェア



<https://job.ac-lab.jp/>

アクセス就活

検索



株式会社 アクセスヒューマネクスト

東京都港区南青山1-1-1新青山ビル西館15階
TEL.03-5413-3002 事業所:関西・名古屋・福岡

セールスプロモーション・業務推進のベストパートナー

株式会社 アクセスプロGRESS

- 販売促進・広告の企画立案・実施
 - イベントスペース「フォーラム施設」の運営(渋谷・青山・大阪梅田・名古屋駅前)
- 東京都渋谷区渋谷2-15-1渋谷クロスタワー24階
TEL.03-5774-2310
事業所:関西・名古屋



ワンストップにて、安心迅速に対応

アクセス業務推進センター

- プリントオンデマンド ●クリエイティブ ●発送・作業代行
- データ管理 ●キャンペーン事務局 ●保管・管理 ●テレマ代行

東京都世田谷区瀬田3-15-10
TEL.03-5797-5450

そのとき、ベストな未来へ。

ACCESS Group

株式会社 アクセスグループ・ホールディングス

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館15階 TEL.03-5413-3001

代表取締役会長

木村 春樹 (昭和43年卒業)



News! 会報誌をすべての同窓生に配布

この会報誌からすべて(*)の同窓生に配布します。

できるだけ多くの同窓生に会報誌を配布するという目標がありました。予算や製作発送体制の制約からできませんでした。皆さまからの維持会費や寄付の充実、体制の整備が整ってきたことにより、本号から多くの同窓生のお手元に会報誌をお届けできるようになりました。皆さまのご理解、ご協力に心より感謝いたします。

(*)同窓会の名簿データベースでお届け先が分かっている同窓生、連絡不要のお届けのない同窓生が対象です。(昨年度までは卒業年度により、隔年の発送でした。)

会報誌やホームページは、役員会を中心とした同窓生ボランティアにより制作しています。

同窓生の皆さまのなかで、会報誌やホームページの制作に興味のある方や、ご協力いただける方はぜひ、ご連絡ください。また、クラス会や同期会、クラブOB/OG会の開催のお知らせや、広告、記事の寄稿なども募集中です。同窓会事務局(p.2の連絡先)までご連絡をお待ちしています。同窓会の規約と編集委員会でご掲載内容や時期を協議のうえ対応させていただきます。

同窓生を対象とした同窓会グッズ頒布サービスについて

同窓会グッズ頒布サービスをぜひご利用ください

同窓会では卒業生に記念品を毎年贈呈しています。

ここ数年はスポーツタオルを贈呈しており、同窓生からも入手したいとの声が多く寄せられていましたのでオリジナルグッズ頒布サービスを開始いたしました。

ご希望の方は本誌26～29ページおよび下記の同窓会ホームページをご覧ください。

グッズは徐々に品数を増やしてまいりますのでご期待ください！



同窓会ホームページのお知らせ



同窓会公式ホームページ

<http://www.ntdosokai.org>

同窓会のイベントや活動報告を掲載しています。年間スケジュールや会則をはじめ、同窓会の情報と、イベント開催時の写真なども豊富です。ぜひご覧ください！

同窓会 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/NTH.Dousoukai>

Facebookにも同窓会の公式ページがあります。こちらのサイトでは、同窓会活動をリアルタイムで掲載中！同窓生のお店紹介など、幅広い広報活動をしています。

同窓会 Facebook ページ "IZUMI"

同窓生参加型のFacebookページです。こちらのサイトでは、同窓生からのメッセージを中心に掲載しています。(同窓会 Facebook ページからリンクしています。)

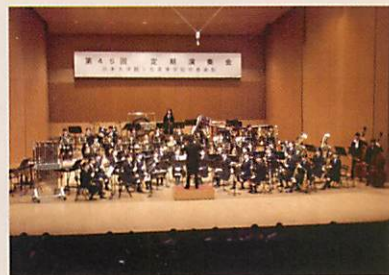
部活動などの活動予定

吹奏楽部定期演奏会

日 時:平成31年3月18日(月) 17:30開場 18:00開演
場 所:セシオン杉並 東京都杉並区梅里1-22-32

活動予定募集中です！

Izumiでは部活などの活動予定をお知らせしています。同窓生の皆様にお伝えしたい部活の公式イベントなどございましたら事務局までご連絡ください。誌面上で同窓生にご案内いたします。



日本大学鶴ヶ丘高等学校 同窓会

発行人:阿部 栄介
編 集:会報誌制作委員会

Mail: tsurugaoka@ntdosokai.org
URL: <http://www.ntdosokai.org>

日本大学鶴ヶ丘高等学校 同窓会誌

日本大学鶴ヶ丘高等学校同窓会誌
Izumi 2018年10月